



4/30 「災害時における応援協定書」を締結しました！ ～お互い助け合う気持ち“絆”を大切に～

4月30日(水)、「災害時における応援協定書」(資機材の供給支援、津波緊急一時避難施設の利用)の締結が市長応接室で行われました。今回の協定では、一般社団法人 日本建設機械レンタル協会 沖縄支部と「資機材(仮設トイレ等)の供給支援に関する協定」、第十ー管区海上保安本部と「災害時一時避難施設としての使用に関する協定」を締結しました。「資機材(仮設トイレ等)の供給支援に関する協定」は、今回が初めての協定締結となり、「災害時一時避難施設に関する協定」は、今回で80以上の施設との協定締結となりました。



5/5 児童館あそびフェスタ開催 ～友だちいっぱい あそびがいっぱい 笑顔いっぱい～

5月5日の“こどもの日”に、沖縄セルラーパーク那覇で『児童館あそびフェスタ2014』が開催され、644名の親子連れが訪れました。オープニングセレモニーでは、那覇太鼓によるエイサー演舞が披露され会場を盛りあげたのに続いて、会場の児童全員による「だるまさんがころんだ」がスタート。ほかにも、「島ゾーリ飛ばし」、「ピックボーリング」、「トンネルあそび」など、小さなお子さんでも安心して遊べるコーナーでは、親子で一緒に体を動かして“こどもの日”を楽しみました。どのコーナーでも笑顔と笑い声があふれていました。



5/8 ゴーヤー Go家運動10年間推進に対する感謝状贈呈式

5月8日は「ゴーヤーの日」です。市教育委員会では、平成17年度から、児童生徒の健全育成および深夜徘徊防止運動「早くお家へ帰ろう! Go家運動」を展開しています。「Go家運動」の推進に大きく貢献された、照屋幸勇さんに教育長から感謝状が送られました。照屋さんは、毎年、那覇市や浦添市内の小中学校に毎年3千鉢ものゴーヤーの苗を無償で提供し、「Go家(ゴーヤー)運動」を呼びかけています。照屋さんは「先生と生徒が土に触れ、成長を見守りながら対話し、絆を深めてほしいです。これからも運動を続けていきます」と話しました。



▲平良かおりさん(左)、知念里乃さん(右)

5/13 2014那覇観光キャンペーンレディ認定証交付式

5月13日、2014年那覇観光キャンペーンレディが決定し、市長応接室で、認定証交付式が行われました。2013年の那覇観光キャンペーンレディに選出されたのは、平良かおり(たいら かおり)さん、知念里乃(ちね りの)さん、のお二人です。平良さんは「いつも笑顔を大切に那覇市の魅力を彩る一員として誠心誠意つとめていきたいです。」と、知念さんは「県内外、そして海を超え世界へ、魅力ある那覇市を広く、多く、また深く発信していきたいと思います。」と抱負を述べました。



5/12 一日民生委員・児童委員友愛訪問

5月12日、城間副市長へ「一日民生委員・児童委員」の委嘱状が交付されました。城間副市長は、「民生委員児童委員の担う役割は幅広く、真に地域の方々お一人お一人の幸せを考えることのできる方であれば務まらないだろうと考えております」とあいさつしました。その後、友愛訪問として、市内の山川文康さん(92歳)とセツ子さん(88歳)夫婦宅を訪れました。長生きの秘訣は?と尋ねられると、山川文康さんは「おいしく食べて、ほどほどに運動、そしてぐっすり寝ることです。リラックスが一番!」と笑顔で話されました。



5/19 「2014年度那覇・福州児童生徒交流祭」帰国報告会

5月19日、「那覇・福州児童生徒交流祭」で、福州市へ派遣された那覇市訪問団が帰国報告のため市役所を訪れました。今年で20回目となる「那覇・福州児童生徒交流祭」は、両市の児童生徒が親しく交流することで、お互いの文化に対する理解と友情を深めることを目的にしています。報告会で、上山中3年の與那嶺明里さんは「今回の訪問団の一員として、福州市の訪問に参加できたことはとても貴重で有意義な体験になりました。この貴重な体験を将来に生かし、私自身が沖縄と中国のかけはしとなるようにしたいです。」と話しました。



5/19 那覇市国際親善名誉市民顕彰～サンビセンテ市 ルイス・クラウジオ・ビリ市長～

5月19日、市の姉妹都市であるブラジル連邦共和国サンパウロ州サンビセンテ市のルイス・クラウジオ・ビリ市長が、今回初めて那覇市を訪れました。そして、同日開催の那覇市議会臨時会において、ビリ市長に対し「那覇市国際親善名誉市民」の顕彰が行われました。また、ビリ市長は「那覇市とは文化的交流や職員派遣などの色々な面で交流をしています。両市の距離は、とても離れていますが、遠く離れていてもお互いを想うあの関係は特別です。この両市の特別な関係が、いつまでも続いていくことを心から願っています」と、感謝を述べました。

5/20 那覇市制施行93周年記念式典

5月20日、那覇市制施行93周年記念式典がパレット市民劇場にて行われました。多くの市民や関係者が参加し那覇市の誕生日をお祝いしました。式典第一部の記念舞台では、大城一乃様による琉球舞踊が披露され、観客を魅了しました。続いて、翁長市長が「こども達に伝え、未来へ残そう ～沖縄らしい優しい社会の構築～」と題し、記念講演を行いました。第二部は、那覇小学校の生徒たちによる市歌斉唱で幕を開け、市民生活・福祉の向上、地域への貢献など、市政の発展に貢献した11名のみなさまを市政功労者として表彰しました。

